

管理栄養士と心理士が教える、ご家族向けオンライン講座



家族ができる 神経性やせ症の食事支援

2020

日時

6.28 9:30~10:30開講
全6回

* 6/28、7/26、8/30、9/27、10/25、12/6

● **Class1 (6月28日) 神経性やせ症とは？**

- ー神経性やせ症の定義
- ー合併症や栄養問題
- ー治療の種類・選択肢
- ーどうして食事が難しいの？
- ーなぜ家庭での食事支援が必要なのか？

● **Class2 (7月26日) 家庭での食事・献立の工夫**

- ー回復に必要な食事と栄養
- ー食事環境の工夫
- ー献立の工夫

● **Class3 (8月30日) 家族の適切な対応と接し方**

- ー苦痛を和らげるための声かけ (食事の前、最中、後)
- ー体重増加を妨げる問題行動にどう対応するか (排出行動、運動)

● **Class4 (9月27日) ロールプレイ**

- ー神経性やせ症で起こり得るシチュエーションを講師陣が実際に演じ、リアルタイムで対処法を学びます

● **Class5 (10月25日) 体験談**

- ー神経性やせ症を克服した人の体験談を具体的にシェアしてもらいます

● **Class6 (12月6日) Q&A**

- ー6クラスのまとめ、質疑応答、今後について

対象

神経性やせ症患者を支えるご家族

* 専門職の方も受講いただけます
(医療・福祉現場の支援者、管理栄養士・栄養士など
食の専門家、学校・教育関係者ほか)

受講費

1回 3,000円 (消費税込)

* Peatixにて事前に受講料をお支払いください

講師

そめはら ふみ
染原 風生 一般社団法人日本摂食障害協会フェロー

Dancers Don't Diet 代表、ダンサー・アスリート専門
管理栄養士、摂食障害治療専門管理栄養士

おぎわら
荻原 かおり 一般社団法人日本摂食障害協会フェロー

東京インターナショナルサイコセラピー・二子玉川オフィス、
臨床心理士、公認心理師

摂食障害はこころとからだに重大な影響を及ぼし、その結果「ふつうに食べる」ことが困難になる疾患です。多くの人は「こころの問題が解決すればふつうに食べられるようになって、そうすればからだも健康になる」と考えますが、からだは正常にはたっていない状態ではこころが回復することは難しく、また「病気の食べ方」が習慣化してしまうことで、こころとからだの回復はどんどん遅れてしまいます。

摂食障害によって「ふつうの食べ方」ができなくなったら、脚を怪我した人が歩行訓練を行うように、食事も練習(リハビリテーション)を重ねて、健康的でしなやかな食嗜好や食習慣、そして食べる喜びを取り戻さなければなりません。そのためには、日々の食事を支える家族が摂食障害を正しく理解し、家庭でも食事と栄養を積極的にサポートすることが必要ですが、食べることを巡って葛藤や争いを生じやすい状況において、具体的にどのような食事を用意し、どのような声かけをすればよいかわからず、悩んでおられるご家族が多いのが現状です。

そこで、本講義は「(摂食障害を持つ本人の回復を応援するために) 家族ができる食事支援法」にテーマを絞り、管理栄養士と心理士が家庭での食事・献立の工夫や家族の適切な対応と接し方などをレクチャー。栄養素だけではなく、心理的な部分も理解しながら、適切な食事や食にまつわる言動・行動を学び、神経性やせ症患者に適した食事リハビリテーション方法を身に付けます。

詳細と受講のお申し込み

<https://www.jafed.jp/paid-seminar/>

本講座は一般社団法人日本摂食障害協会フェローが講師を務めるインターネット上で実施する動画配信型のセミナーです。インターネット環境があればどこでも受講していただけます。

1. 本講座はZoomを使用します。ソーシャルチケットサービス「peatix」(上記URLよりリンクあり)にて、事前に受講料をお支払いください。
2. 視聴のためのURLは、配信開始日の約1週間前と配信開始日の朝にお送りするメールにて別途ご確認ください。
3. 配信開始日の約1週間前までに当日使用するスライドや、参考資料(PDF)などをメールにてお送りします。

主催 一般社団法人 **日本摂食障害協会**

Japan Association for Eating Disorders

問合せ r.hayashi@jafed.jp

* 各種お問合せは、Eメールのみにて承ります

HP

www.jafed.jp

日本摂食障害協会

